

山口七夕会定時総会を開催しました!

去る、7月30日、76名の参加で定時総会を開催しました。

【総会】には、山口から渡辺市長、野村市議会議長様をはじめとする市役所幹部に出席いただきました。

総会では、平成22年度事業報告、決算及び監査報告、平成23年度事業計画、予算の審議を行い、原案通り承認されました。

また、昨年策定した今後10年の長期計画にあたる「山口七夕会2020ビジョン」に基づく活動として、ふるさと山口への貢献と交流拡大(ふるさと納税の推進、ふるさと交流会の開催など) 会員拡大(新市域への拡大、全国展開) 女性・若い世代の参画と世代間・地域間の交流の三本柱で具体的な活動に取り組むことになりました。

さらに、新たに阿東地区出身の原早苗監事を選任し、平成の大合併で新市域となった各地域からの役員も揃いました。女性役員の世代交代や山口県東京事務所長、山口銀行東京支店長の異動に伴う役員交代もありましたが、引き続き、役員、幹事を勤められる方々を含め、下記の役員体制で今後一年間活動してまいりますのでよろしくご協力をお願いします。

【会 長】 八木重二郎

【副会長】 石田順康

山仲秀子(新/幹事から就任)

【幹事長】 山縣正彦

【幹 事】 原田俊明、平林英昭、竹重高志
安田 宏、久永洋子、大和みち子
渡邊史信、河内義文、重宗雄造

【監 事】 矢儀一仁(山口銀行東京支店長)

原 早苗(新)

【顧 問】 村田常雄(新/山口県東京事務所長)

原野和夫、山本和生



総会に続く【講演会】では、狂言についての世界的な権威であられる武蔵野大学名誉教授の小林貴(こばやしせき)様に「山口に現存する鷲流狂言」と題して講演いただきました。また、山口鷲流狂言保存会のみなさまによる演目「鬼瓦」の実演も行われました。



【懇親会】は、防長倶楽部「きらら会コーラス」のメンバーを中心に急きょ結成された「七夕合唱団」の歌声で開会!

防長倶楽部や各同窓会からのPRもあり、会員のみなさま同士、また、山口市のみなさんと親しく懇談され、ふるさと山口の話題で盛り上がりしました。

定時総会挨拶



山口七夕会
会長 八木重二郎

本日は、故郷山口市から渡辺市長さん、野村市議会議長さんをはじめとする幹部のみなさんに、はるばる定時総会にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、会員の皆様には朝早くから、お集まりいただき、心からありがとうございます。

山口七夕会も一昨年、設立10周年を迎え、これを機にさらなる発展を期することとし、昨年の総会で、山口七夕会2020ビジョンを決定いただきました。早いもので一年が経ちました。2020ビジョンは、ふるさと山口を絆に、人と情報の交流とつながりをめざす10年計画ですが、この一年、2020ビジョンを具体化するため、さまざまな活動を展開してまいりました。

本日の総会では、山口七夕会の目的である、「会員相互の親睦を図り、教養を高める。」、「郷土山口市との連絡を密にし、情報交換を行う。」、「郷土山口市の発展に寄与する。」の原点に立ち戻って、一年の活動を振り返り、今後一年の活動の計を議論いただければ幸いです。

さて、定時総会に続きまして、ふるさと山口に120年あまりの歴史をもって保存伝承され続けている鷺流狂言について講演と実演を山口鷺流狂言保存会のみなさまにお願いしましたところ、急遽、狂言についての世界的な権威であられる武蔵野大学名誉教授の小林責(こばやしせき)様にもご講演いただけることになりました。山口にしかない伝統芸能の保存の歴史と現状についてお話いただきます。また、山口鷺流狂言保存会のみなさまによる演目「鬼瓦」の実演もお楽しみください。みなさまには、懇親会にもご参加いただけるとのことですので、よろしくご歓談ください。

結びになりますが、年に一度の総会ですので、一年の活動を振り返り、また、今後一年の活動の思いを語り合いながら、会員相互の懇親も深めていただければ幸いです。よろしくお祈りします。ありがとうございました。



山口市長
渡辺 純忠

一言、御挨拶を申し上げます。

本日、平成23年度山口七夕会定時総会が、このように盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。ふるさと山口を離れ首都圏で御活躍されながらも、山口の発展を願い、大いに寄与されておられることに心より感謝を申し上げますとともに、八木会長様を中心とした役員の皆様の御尽力に深甚なる敬意を表する次第でございます。

今年度は、市の最重要政策の1つであります新山口駅ターミナルパーク整備が、いよいよ実行段階へと移行いたしました。本年3月に南北自由通路と橋上駅舎の工事協定をJR西日本と締結し平成28年度の完成を目標に取り組んでいるところでございます。併せて、駅前広場を現在の約1.6倍に拡張し、中身も一新することにしておりまして、この整備につきましては、市はもとより県の玄関口である大変重要なものと認識しておりますことから、これにふさわしい優れた設計者を募るため、公募型プロポーザルを実施したところでございます。提案は全国から実に119件の応募がありまして、今月2日に事業者を1社に決定したところでございます。今後、関係者とともに鋭意取り組んでまいる所存でございます。また、駅に隣接した2ヘクタールに及ぶ広大な土地につきましても、構想の具体化に向けて議論を重ねているところでございます。

先日発生した中心商店街の火事につきましては、皆様に変なご心配をおかけいたしました。場所は中市商店街にあります井筒屋向かいの一角で、9棟が燃える大規模な火事でした。また、ちょうど祇園祭の時期であり、この影響により市民総踊りが延期になったところでございます。今後は、復興に向けて商店街と協力しながら取り組んでいく次第です。

本年秋には、48年ぶりに山口県で国民体育大会と全国障害者スポーツ大会が開催されます。期間中に選手

や関係者をはじめ、多くの方が滞在する湯田温泉地区につきましては、JR湯田温泉駅に隣接して、新たに足湯を設けるとともに、トイレや駐輪場を再整備するなどの駅前整備を行いまして、御来訪いただく方に心地よく滞在していただくための取り組みを進めているところでございます。さらに、民間におかれましては、今月初旬にタナカホテル跡地に和風旅館「古稀庵」が開業し、また9月にもグリーンリッチホテルがオープンする予定でございまして、湯田温泉街に新たな魅力が加わることにより、地域全体が更に活性化いたしますものと期待するところでございます。

今後とも、本市はもとより、人口60万～70万人を擁する県央地域全体を牽引すべく、広域県央中核都市の創造に努めてまいりますとともに、地方の一都市に埋没することのないよう、挑戦を続けて参る所存でございますので、皆様におかれましては、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

また、8月に山口七夕ちょうちん祭り、10月には山口国体がございますので、ぜひこの機会に山口にお越しいただき、ふるさと山口をゆっくりと満喫していただければ幸甚でございます。

最後になりますが、山口七夕会のますますの御発展と皆様の御健康、御多幸と益々の御活躍を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。



山口市議会議員

野村幹男

本日ここに平成23年度山口七夕会定時総会が開催されるにあたり、山口市議会を代表いたしまして、一言お祝いのごあいさつを申し上げます。

山口では、先日、室町時代より550年続く伝統の夏祭り「山口祇園祭」が威勢のよい御輿の掛け声とお囃子の中、盛大に開催されたところでございます。

また、8月6日・7日には、山口の夏の風物詩となっております「山口七夕ちょうちんまつり」が開催され、ちょうちんの柔らかな光が山口の街を幻想的に包み込みま

す。

このような故郷を愛し、その発展を願う首都圏在住の市内出身者やゆかりの方からなる山口七夕会、八木会長様をはじめ、役員、会員の皆様におかれましては、この会を通して、相互の交流を図りながら山口市に対する理解を深め、山口市の社会、経済及び文化の発展に強いお力添えをいただいておりますことに対しまして、深く敬意を表するとともに、心より感謝申し上げる次第でございます。

本日は、定期総会ということで、1年間の行事報告や決算及び今年度の事業計画などが協議され、その後、山口鷺流狂言技術保持者、米本文明様より「山口に現存する鷺流狂言」のご講演と演目「鬼瓦」の狂言をご披露いただくということで、大変楽しみにいたしているところでございます。

さて、山口市議会では、平成21年に制定した議会基本条例のもと、山口の夏と同様に、熱く燃え上がる情熱を持って、市民の目線に立った議会活動に取り組んでおりまして、山口市議会初の政策条例の制定や市民の皆様への議会報告会の実施などの検討を進めており、引き続き議会活性化に、より一層取り組んでまいりたいと考えております。

今後とも、会員の皆様におかれましては、「ふるさと山口」の応援団として、暖かく、また、厳しく見守っていただき、市政推進に向け皆様方の英知と活力により、さらなるお力添えをいただきますよう重ねてお願い申し上げます。

終わりに、山口七夕会のますますの御発展と会員の皆様のなお一層の御健勝、御多幸、御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

本日は、誠におめでとうございます。



【総会の模様】